



No.392 令和4年9月27日

# おおたこうれん

発行所  
東京都大田区南蒲田1-20-20  
電話(3737)0797・FAX(3737)0799  
一般社団法人大田工業連合会  
発行人 会長 広瀬安宏  
E-mail: office@ootakoren.com  
ホームページ: https://ootakoren.com  
印刷所  
東京都大田区中央8-5-1  
電話(3752)3391  
城南印刷工業株式会社



広瀬新会長

6月3日に開かれた第63回大田工業連合会定時総会で、工和会協同組合の理事長を務めている(株)伊和起ゲージの広瀬安宏社長が、大田工業連合会の第8代会長に就任した。新型コロナウイルスが猛威を振るい、ロシアによるウクライナ侵攻も終りがみえず経済の見通しは不透明な状況のなか、大田区の町工場の発展のため、どのように手腕を発揮するのか。自らを「町工場の親父」と称する広瀬新会長に展望を聞いた。

――15年間会長を務めた舟久保利明前会長からバトンを受け継ぎました。交代を打診されたときのお気持ちはいかがでしたか。

「自分は典型的な町工場の親父であり、会社の規模も決して大きくはない。自分の性格もトップよりナンバー2向きだと考えているし、正直、分不相応だと思った。ただ舟久保会長からご指名を受けた時、『何かの役職を求められるときは、自分には分からない魅力を感じてもらっているのだから、黙って引き受けなさい、その為の準備を常日頃しなさい』

## 大田工業連合会第8代会長 広瀬安宏新会長インタビュー

い。』という、先輩の言葉を思い出した。微力ではあるが、会長職をしっかりと務めていきたい」

――会長としての抱負をお聞かせください。

「大田区の町工場は少人数の会社が多い。『製造』と『営業』という2つのタイヤを経営者がコントロールしている。この製造と営業は完全に違う種類の仕事だ。製造はモノに集中し自分の内面に入っていくし、営業は他者など他人に向かっている。町工場の社長はこの2つに強力に関わっているの、一般的な中小企業に比べて背骨があり、あえて言えば頑固な経営者が多い。大田工連の会長として、バランスを取りながら皆の合意を形成していく」

――大田区の町工場の現状をどう分析していますか。

「この前ニュースを見ていたら、『今は何でもアプリで体験できる』と言っている若者がいた。私は違和感を覚える。町工場の仕事でも工具の刃持ちや切粉の流れ方など、コンピューター化できないノウハウはまだ多い。一般的に人が育つには10年かかると言われるが、職人は一生が仕事だ。もしかしたら世間の中では絶滅危惧種に近いのかもしれないが……」

「町工場の状況は決して芳しくない。中国の企業の台頭や、ロシアによるウクライナ侵攻で世界経済がおかしくなっており、町工場にも影響は及んでいる。現状が厳しいのは町工場自身も悪かったという反省もある。外部に対するアピールをしっかりと

りしてこなかったからだ。半面、バブル崩壊から始まり、リーマン、現在も続く感染状況の中で今も生き残る能力がある。これらを駆使して、これからも製造業を続けていきたい」

――町工場が栄え、生き延び続けるには何が必要ですか。

「事業承継(次世代育成)だ。その為にはモノづくりが認められ、職人がヒーローにならなければいけない。昔の大田区は町工場のドアが開けばなす、職人がモノを造る姿を子供たちが眺めることができた。額に汗を流し、大きな機械を操ってモノを造る職人は、間違いなく子供たちのヒーローだった。今は騒音や企業秘密の漏洩を恐れ、外から見えない会社がほとんどになってしまった。日本のモノづくりの世界的な優位性が下がっていく中、現在でもブランドとして通用するのは『Made in Japan』である。我々がモノづくりで事業を継承して、人、街が創られる事を認知される社会、ドイツのマイスター制度のように、真面目に働く職人を評価する社会であることが必要だ」

――行政に求めることはありますか。

「次世代に魅力ある製造業とは何か? 大田区は製造業を大事にする区。職人が表彰され周知され尊敬される仕組みづくり、また工業用地の確保を考えて頂きたい。大田区で事業拡張しようにも用地がなく、区外に出て行く企業も多い。工場跡地が



マンションになると、住工混在問題が深刻化してしまう。実現は難しいかもしれないが、工場跡地が新たな工場になるサイクルが実現できたらと思う。また次世代へのモノづくり教育など、考え始めるときりがない。会員の皆様と一つ一つ要望し、実現していきたい」

――ありがとうございました。

大田工業連合会 歴代会長

	氏名	会社名	所属団体	任期(年)
初代	後藤 太郎	日興電機工業(株)	蒲田工業協会	1959～1976 (17)
第2代	渡邊 禮之	桂川電機(株)	蒲田工業協会	1976～1986 (10)
第3代	千葉 博	太産工業(株)	蒲田工業協同組合	1986～1994 (8)
第4代	木村 吉男	トキワ精機(株)	大森工場協会	1994～1998 (4)
第5代	小倉 康弘	三葉能率電機(株)	東調布工業会	1998～2006 (8)
第6代	北嶋 一甫	(株)北嶋紋製作所	工和会協同組合	2006～2007 (1)
第7代	舟久保 利明	(株)昭和製作所	大森工場協会	2007～2022 (15)
第8代	広瀬 安宏	(株)伊和起ゲージ	工和会協同組合	2022～

人が育てば、企業が伸びる



社員教育や  
スキルアップをお手伝いします。



高度ポリテクセンター

ハロートレーニング

――急がば学べ――

# サイバーセキュリティ最新データ

## 〈〈〈ネットワーク不正侵入など6月に攻撃が増加!〉〉〉

沈静化の兆しが見えないウクライナ情勢が経済を不安定化させ、我々の生活に大きな影響を与えています。サイバー空間も同様にその影響が大きく、ウクライナ情勢に起因するサイバー攻撃が発生しております。大田工業連合会（以下、当会）の会員企業約30社の7月までのサイバー攻撃状況（図1）を報告します。

6月にサイバー攻撃件数が大きく増加しており、この攻撃の95%以上はネットワークに不正に侵入しようとする試みでした。これらの攻撃は、各社に設置されているセキュリティ機器で自動的に遮断しているため攻撃を受けている実感がわきにくいと思いますが、イメージしやすい形の攻撃であるウイルス付メールも連動して6月に増加（図2）しています。

こういったウイルス付メールは、ウイルス感染経路の約9割を占めており、注意していても誤って添付

ファイルを開いてしまうことがあるため、セキュリティ対策をしておくことが大切です。

中小企業向けのセキュリティ対策としては、経済産業省が推奨する「サイバーセキュリティお助け隊サービス」があります。これは、中小企業が利用しやすいセキュリティサービスとして一定の基準を満たしたサービスであり、次のような特長をワンパッケージかつ安価に提供しているものとなっています。

- 1 ウイルス感染などの異常がないかの見守り
- 2 万が一、問題が発生したときの駆け付け対応
- 3 セキュリティ事故対応にかかった費用を補償する保険

※サイバーセキュリティお助け隊サービス  
<https://www.ipa.go.jp/security/otasuketai-pr/>

セキュリティ対策は何をしていいかわからないというご意見もあるかと思いますが、お助け隊サービスであれば、中小企業に最低限必要な対策がオールインワンでカバーできます。また、国が推奨するお墨付きサービスであることから、取引先に対しても自社の安全性、信頼性をアピールすることが可能です。

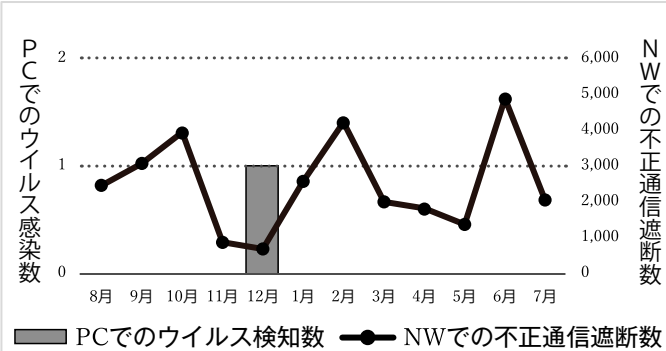
なお、お助け隊サービスを導入する際は、国による補助を受けることができます。冒頭の通り、不安定な世界情勢により中小企業へのサイバー攻撃が日に日に激化していくなか、国も日本全体のセキュリティレベルを向上させるために中小企業のセキュリティ対策支援を進めています。その一環として、お助け隊サービスはIT導入補助金で優遇措置の対象となっています。

IT導入補助金は、中小企業がITツールを導入・運用する際の費用のうち、50～75%が補助されるものです。今年度からお助け隊サービスもあわせて導入する場合、お助け隊サービスの費用も補助対象となるだけでなく、IT導入補助金申請の審査において加点を受けることができ、採択されやすくなります。

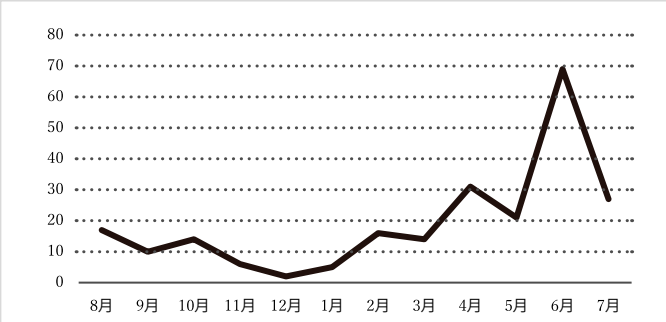
コロナ禍によるIT化の進展にあわせ、電帳法改正やインボイス制度など、当会員企業でもIT化の必要性が高まっています。こういった補助金制度を活用し、お得に安全安心なIT活用を進めることもできますので、ぜひ参考にしてください。

※IT導入補助金  
<https://www.it-hojo.jp/>

図表1 サイバー攻撃件数の推移



図表2 メール添付ウイルスの検知数



## 『おおむすび』をご存知ですか？

『おおむすび』とは、大田区内にある障がい者施設が連携して、施設利用者の工賃向上・社会参加を目指す取組みのことです。具体的には、以下の活動等を行っています。



©大田区

### 軽作業の受注

清掃、ポスティング、封入作業、シール貼り等の軽作業をお受けしています。「こんな仕事はどうか？」と思うこと、なんでもお気軽にお尋ねください。

### お菓子・雑貨などの販売

各施設で製造している焼菓子や雑貨などの商品（自主生産品）を区施設（常時）・商業施設等（随時）で販売しています。

ご要望に応じて、箱詰め等のセット販売（※1）のご注文を受けており、大田区土産としてご利用いただけます。

焼菓子や雑貨以外にもパン・お弁当も製造しており、イベント等での出張販売も行っております。お気軽にご相談ください！

※1）〔贈答用箱詰め等商品例〕

おおむすびデラックスセット（箱詰め）1,000円・1,500円・2,000円等

おおむすびプチセット（かわいいラッピング）300円・500円等

\* ご注文は、1セットからお受けします。2週間前までにご注文ください。



おおむすびプチセット

問い合わせ先

### 大田区生産活動支援施設連絡会

（おおむすび連絡会）[事務局：志茂田福祉センター]

〒144 - 0056 東京都大田区西六郷 1-4-27

☎ 03-3734-0763

FAX 03-3734-0797

E-mail [shinkama@city.ota.tokyo.jp](mailto:shinkama@city.ota.tokyo.jp)



おおた生産連 HP



大田区 HP

おおむすびDXセット





夏休み親子で楽しむ  
「ロボット作り教室」  
100組200名の親子が参加

猛暑が一段落してきた8月20日、21日、大田工業連合会と大田区産業経済部産業振興課は、大田区産業プラザP i O 2階の小展示ホールで、夏休み親子で楽しむ「ロボット作り教室」を開催した。各日に午前の部と午後の部があり、各回に約25組50名、合計で200名が参加した。新型コロナウイルスの感染が再拡大していたこともあり、感染防止対策を施した上での開催となった。

教材として使われたのは、二足歩行ロボット「ステッピー」だ。今回の教室で講師を務めた、芝浦工業大学の事業法人であるエスアイテック（東京都江東区）が製造・販売するロボットキットで、タミヤの2チャンネルリモコンボックス、シングルギアボックス（4速タイプ）、アルミニウム製の筐体で構成する。単三電池が単四電池で駆動し、歩行のほか、綱渡りなどでもできる。3時間程度で組み立てられるシンプルな構造だ。もののづくりを楽しみながら、ロ

ボットの構造が理解できるようになっている。

20日午後の教室の開催にあたり、当会の広瀬安会長は「私は大田区で育って60余年。参加者の皆さんくらいの年齢の時には、ロボットと言えば手塚治虫の『鉄腕アトム』でした。ロボットが身近な最近の世の中を見ていると、子供の頃の夢が実現していると感じます。今日のロボット作りが、将来、皆さんの夢を実現するきっかけになればと思います」とあいさつした。西川恭子事務局長は「ロボット作りは難しいところもありますが、講師の先生が協力してくれるので、諦めずに頑張ってください」と呼びかけた。

子供たちは、自宅から持参したニッパーとドライバーを使い、どんどんとステッピーを組み立てていった。説明書を見ながらの作業だったが、細かな部品も多く、構造が複雑な箇所も多い。親子で話し合い、作業を助け合いながら、各テーブルで作業が進んでいった。



ステッピーを歩かせる子供たち

組み立てが一段落すると、それぞれのテーブルの上でステッピーが動き出した。会場内にはモーターの駆動音と、シャカシャカというアルミ筐体がかすめる音が響く。最初からスムーズに歩けるステッピーは少なかった



挨拶する広瀬会長

が、子供たちは何度も部品の調整に取り組み、多くのステッピーが二足歩行するようになった。外の廊下に作られた歩行コースのほか、綱渡りのコースでは器用に綱を渡るステッピーの姿が見られた。

小学4年生の渡明真さんは「工作が好きなので参加しました。ナットを締めるところとか難しい所もあったけれど、お母さんに押さえてもらって完成しました」とコメント。小学2年生の関友菜さんは「学校のプリントで知って申し込みました。楽しかったので、また参加したいです」と笑顔で答えた。

日本は、新型コロナウイルスの感染拡大はあれど経済活動の歩みを止めない「ウィズコロナ」時代に突入した。社会全体の重苦しさは払拭できていないが、親子でものづくりを楽しむ本イベントは、子供たちにとって最高の夏の思い出となったことだろう。



親子で楽しむ「ロボット作り教室」 in 大田区 2022  
2022年8月20日(土)～21日(日) [2日間]  
主催：大田区・一般社団法人大田工業連合会

大田区より

風しん抗体検査・予防接種を無料で受けられます！

【対象者】

昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性のうち、  
抗体検査をまだ受けていない方

※公的接種を受ける機会がなく、抗体保有率が他の世代に比べて低くなっています。

区から令和4年5月中旬、対象の方（令和4年4月1日時点で区内在住）に、風しんの抗体検査・予防接種を無料で受けることができるクーポン券を一斉発送しました。実施医療機関だけでなく、職場での事業所健診の機会に受けることができます場合があります。詳細は勤務先の健診担当にお問い合わせください。

【事業所のご担当者様へ】

対象の方が風しんの抗体検査を受けることができるよう、ご協力をお願いします。

◆事業所健診で風しん抗体検査を実施できるよう健診委託先との調整をお願いします

定期健診等においてクーポン券を利用して抗体検査を実施できるか、健診委託先の医療機関にご確認いただき、実施できる場合は、今後健診の委託内容に風しん抗体検査を含めて実施いただくようお願いします。

◆対象者へクーポン券を利用するよう呼びかけにご協力ください

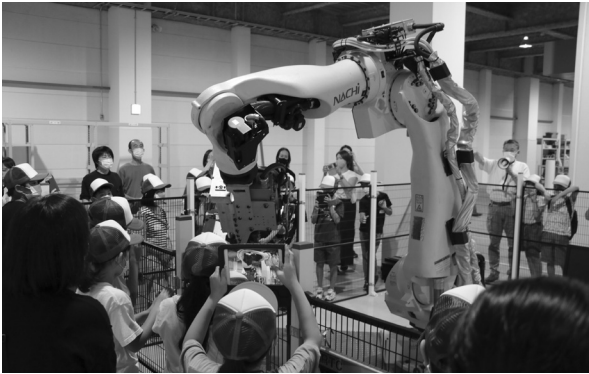
職場の健診や、医療機関受診時などに、クーポン券を持参して風しんの抗体検査を受けるよう、対象者への普及啓発にご協力ください。

詳細情報は大田区ホームページでご確認ください。  
右記QRコードからアクセスできます。



問合先：大田区保健所感染症対策課  
電 話：03-5744-1263  
F A X：03-5744-1524





産業用ロボットの動きに引きつけられる発見隊

# 区内小学生がものづくりを体験 産業のまち発見隊、 コロナ乗り越え3年ぶり開催



完成したオリジナル  
テープカッター

敵になる映画  
が多いからか  
もしれません」  
（高丸社長）。  
関西弁で語ら  
れる高丸社長

大田工業連合会と大田区が主催する「産業のまち発見隊」が3年ぶりに開催された。同イベントは、大田区内に在住・通学する小学4年生から6年生の子供が参加するバスツアー。午前は区内企業の製造現場を見学し、午後は親子でものづくり体験ができる人気のイベントだ。万全の感染対策を施した上で8月5日、25日に開催。8月5日には23組46名、25日は24組48名の親子が参加し、大田区のものづくりを見学・体験した。

8月5日の午前の部では、平和島にあるロボットテクニカルセンター東京を見学した。同センターは兵庫県西宮市の高丸工業（株）が出資する、産業用ロボットの展示施設。専門性に特化した多様なロボットシステムを展示。地面から生えた巨大な腕、あるいは大蛇のように見える産業用ロボットが器用に動くと、参加者の親子は吸い寄せられるように集まった。子供たちは食い入るように眺め、私たちはスマートフォンでロボットたちの動きを撮影した。

見学後は、この日のために上京して頂いた高丸工業の高丸正社長が「ロボットって何？ セミナー」日本は世界一のロボット大国！という内容で講演を行った。日本のロボットメーカーは世界で6割のシェアをもつこと。その根本には鉄腕アトムやドラえもんから始まる「ロボットは人間の友達」という心理があるのでは、と語った。「欧米の人と話すとロボットは気持ち悪いと言う人がいます。映画の『ターミネーター』のようにロボットが



桂川精螺でねじ作りを体験

の話は親しみやすく、子供たちも興味津々で話を聞いた。

午後は羽田にある東京都立職業能力開発センター大田校に移動した。こちらでは同校の教育設備である汎用旋盤やねじ切り機を使い、オリジナルのテープカッター製作に挑戦。子供たちは、教員のサポートを受けつつ工作機械を操作、各自が考えた文字や絵のデザインをレーザー加工機で刻印し、世界でひとつだけのテープカッターを作り上げた。巨大な機械を動かして金属を削る体験は子供たちにとって初めてであり、貴重な夏休みの一日となった。

8月25日に開かれた第2回では、午前に（株）桂川精螺製作所を訪問した。同社はねじのメーカー。2018年に本社を建て替えているが、旧本社が2015年に放送されたTBSのドラマ「下町ロケット」のロケ地に使われたことで有名だ。

担当者による「ねじ」のレクチャーを受けた後、体験用の製造機械で、ねじの製造体験が行われた。子供たちは、ねじの頭に十時の切れ込みを入れる「ヘッダー」、ねじの頭を六角形にする「トリマー」、ねじに溝を掘る「ローリング」の3台を操作。大きなハンドルを回しながら「めちゃくちゃ重い」と感想を漏らす子供が多かった。できあがったねじを見ては「ちゃんとねじになっている。すごい」と歓声が上がった。



親子で電子工作に挑戦

午後、JR蒲田駅に近い、日本工学院専門学校蒲田校に移動。

こちらは、電子工作とプログラミングを体験した。「バーサライタ」という、高速で動かすことでLEDの残像が絵や文字を表示する機器だ。子供たちはハンダごてやニッパーを使い、バーサライタを製作。プログラミングも行い、自分の名前やイラストを表示するバーサライタを製作した。子供たちは完成したバーサライタを振り、うまく文字や絵が表現できるよう、工夫していた。

3年ぶりの開催となった産業のまち発見隊は、協力していただいた企業、学校の協力によりスムーズな運営となった。子供たちは、町工場の技術と工作の楽しさという大田区のものづくりを「発見」し、貴重な学びを得ていた。

製缶・溶接・研磨・電解研磨  
**株式会社 酒井ステンレス**  
代表取締役 酒井壽俊

大田区京浜島2-21-1  
TEL 03-3790-0333(代) FAX 03-3790-0335  
福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字上狐山20-1  
TEL 0248-53-3848 FAX 0248-53-3887  
URL <http://www.sakai-st.co.jp>

第391号（7月28日発行）の暑中お見舞い広告のうち、株式会社酒井ステンレス様の広告に誤りがありました。お詫びして正しい広告を掲載させていただきます。

広告訂正のお詫び



## おおた少年少女発明クラブへの 協賛金（寄付金）ご協力をお願い！

大田区内の子どもたちに技術や科学に対する興味、関心を喚起する場を提供し、大田区が誇るものづくりの楽しさを体験することによって、創造性豊かな人材育成を進めることを目的に、「おおた少年少女発明クラブ」を運営しています。



©大田区

対 象  
活動 期間  
事業 内容

区内在住・在学の小学4～6年生  
毎年4月～翌年3月 ※募集は毎年3月初旬予定

ものづくりの楽しさを体験学習させる機会を継続的に提供し、技術や科学に対する興味・関心の喚起、子どもの創造性を伸ばすことで、将来の大田区のものづくりを支える人材育成に寄与することを目的としています。年間20回程、土曜日の午後に活動を行い、工場見学なども行います。

大田区産業振興協会HP



公益財団法人大田区産業振興協会＞人財の育成・確保＞おおた少年少女発明クラブ  
<https://www.pio-ota.jp/human-resources/hatsumeclub.html>

※ おおた少年少女発明クラブでは、区内企業様にものづくりの未来を担う子どもたちの活動へのご支援をお願いしています。詳しくは下記問い合わせ先までご連絡ください。寄付金は所得税法上の寄付金控除、または法人税上の損金算入額の特例が受けられます。

お問い合わせ  
申し込み

公益財団法人大田区産業振興協会（地域人材セクション 人材育成・確保チーム）  
TEL 03-3733-6199 FAX 03-3733-6459 受付時間 9:00～12:00 / 13:00～17:00 月曜日～金曜日（休祝日・年末年始を除く）  
〒144-0035 東京都大田区南蒲田1丁目20-20 大田区産業プラザ